

平成 29 年度第 2 回学校関係者評価委員会兼信頼される学校作りのための委員会について(報告)

日 時 平成 29 年 11 月 15 日(水) 15:27 ~ 16:32

会 場 総合学館 2 階 C24 教室

参加者 評価委員・校長・教頭・事務長・4 部主任・学年主任・学校評価係

**質疑・意見交換の主な内容(まとめ)**

1 1 学年について

- ・(質疑) 中間反省で宿泊学習の件があったが、宿泊学習はいつあったのか。また、「社会性が身に付いていないことが明らかになった」とあるが、現在の生徒の状況について教えて欲しい。  
(回答) 宿泊学習は 4 月 19 日(水) ~ 21 日(金)に行われた。現在は少しずつ社会性を身に付け高校生らしい生活を送ることができるようになってきているが、一部の生徒が授業に対応できていない状況もある。
- ・(意見) 中学校では社会性を身に付けさせるために、SEL-8S という対人関係能力育成プログラムに取り組んでいる。

2 教育課程について

- ・(質疑) 生徒数や職員数が減る中で、生徒のアンケートに「科目数を増やして欲しい」という意見があるが、どうするか。  
(回答) 生徒数の減少に伴い学級数や職員数も減少するため、選択科目の数を減らさざるを得ない状況である。科目を選択できることは総合学科の特長でもあり、どの科目を残すべきか慎重に検討したい。

3 学習面について

- ・(意見) 自宅学習を促進するためには、「何時間勉強しなさい」など漠然と取り組ませるのではなく、具体的な目標を設定したり、生徒が興味を持って取り組むような中身に見直したりすることが必要である。

4 その他

- ・(意見) 生徒が学習面や部活動において活動しやすい環境を作るために、教師内で密な連携を図り、生徒と教師間でもしっかりとコミュニケーションを図ることが必要ではないか。
- ・(意見) 生徒から「先生はなかなか話を聞いてくれない」という意見を聞くので、一度生徒の話をしっかりと聞いて欲しい。
- ・(意見) 教師との交流や話し合いの機会を増やすためにも、学校関係者評価委員会に、委員だけでなく興味のある方が参加できるようにしてはどうか。